

特定健康診査等実施計画（概要版）

平成 2 0 年 3 月 洞爺湖町

1 計画策定にあたって

1 特定健診・特定保健指導の導入の趣旨

健診等は、現在、老人保健法や医療保険各法に基づいて市町村、企業、医療保険者によって実施されていますが、各健診の役割分担が不明確であり、受診者に対するフォローアップが不十分であるとの指摘がされています。

このため、国保、健保組合等の保険者は、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、40歳以上の被保険者、被扶養者について、平成20年度から糖尿病等の生活習慣病に着目した「特定健診」、「特定保健指導」をおこなうものであります。

2 メタボリックシンドロームに着目する意義

メタボリックシンドロームの概念を導入することにより、内臓脂肪の蓄積、体重増加が血糖や中性脂肪、血圧などの上昇をもたらすとともに、様々な形で血管を損傷し、動脈硬化を引き起こし、心血管疾患、脳血管疾患、人工透析の必要な腎不全などに至る原因となることを詳細にデータで示すことができるため、健診受診者にとって、生活習慣と健診結果、疾病発症との関係が理解しやすく、生活習慣の改善に向けての明確な動機づけができるようになると考えられています。

2 計画の期間

この計画は5年を一期とし、第1期は平成20年度から平成24年度とし、5年ごとに見直しをおこないます。

3 計画の目標値

この計画の実行により、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者・予備群を平成27年度までに25%減少することを目標としています。

4 洞爺湖町の現状と課題

(1) 死亡状況

死亡統計では、心疾患、脳血管疾患の割合が全国・全道の比にして高く、年齢別死亡状況でも同疾患は40代、50代の若い世代から死亡が目立ってきています。

(2) 医療費の状況

国保の医療費は、一般、退職、老人ともに全道平均より一人当たりの医療費は高く、疾病別分析調査では、生活習慣病に関する医療費が医療費全体の73.5%を占めています。

受診状況では高血圧、高脂血症の割合が多いが、糖尿病、虚血性心疾患の割合も高く、特に男性の40代、50代からの増加傾向が見受けられます。

入院では、心疾患、脳血管疾患のいずれか、もしくは両方を併せ持ち、糖尿病も併発し重症化や長期入院等により医療費が高額化しているケースがあります。

(3) 健診結果の状況

経年的に肥満該当者が30%を占め、特に50代男性の45%が肥満該当になります。

収縮期血圧、LDL コレステロール、血糖、HbA1cの有所見者の割合の高さに加え、肥満該当者の多さから、動脈硬化が促されリスクが重複し血管を傷つけ、心疾患や脳血管疾患など重症な疾患を引き起こすメタボリックシンドロームの構図が見受けられます。

これらのリスクの重複を避け、予防的な視点で個々の生活や食の実態から健診結果と代謝のメカニズムを関連付けた支援が必要となります。

* 生活習慣病が国保加入者全体に占める割合 (平成18年5月分レセプトより)

国保加入者 4,915人 生活習慣病 2,167人(44.1%)

* 生活習慣病に占める割合

高血圧 1,557人(71.9%) 高脂血症 1,056人(48.7%)

糖尿病 653人(30.1%) 虚血性心疾患 559人(25.8%)

脳血管疾患 423人(19.5%)

* 健診有所見状況 18年度 611人受診

内臓脂肪症候群 79人(13%) BMI 25以上 207人(34%)

血糖 173人(28%) HbA1c 236人(39%)

LDL コレステロール 129人(21%) 収縮期血圧 173人(28%)

5 特定健康診査対象者数

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
40～64歳	1,229人	1,170人	1,114人	1,060人	1,009人
65～74歳	1,321人	1,316人	1,311人	1,306人	1,301人
計	2,550人	2,486人	2,425人	2,366人	2,310人
(再)事業主健診受診見込数	10人	10人	10人	10人	10人

6 目標値

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
特定健診の受診者数	467人	555人	638人	717人	769人
特定健診の実施率	18%	22%	26%	30%	33%
特定保健指導の実施者	51人	59人	68人	76人	81人
特定保健指導の実施率	45%	45%	45%	45%	45%
メタボリックシンドローム 該当者及び予備軍の減少率		6%	8%	9%	10%

7 特定保健指導対象者数・指導見込数

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
40～64歳	対象者数	59人	70人	80人	91人	97人
	指導見込数	27人	32人	36人	41人	44人
65～74歳	対象者数	53人	60人	70人	78人	84人
	指導見込数	24人	27人	32人	35人	38人
計	対象者数	112人	130人	150人	169人	181人
	指導見込数	51人	59人	68人	76人	81人

8 特定健康診査の実施方法

<p>健診項目</p> <p>(1) 基本的な健診項目</p> <p>質問項目、身体計測（身長、体重、BMI、腹囲）、理学的検査（身体診察）、血圧測定、血中脂質検査（中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール）、肝機能検査（AST（GOT）、ALT（GPT）、γ-GTP）、血糖検査（空腹時血糖）、尿検査（尿糖、尿蛋白）</p> <p>(2) 追加項目</p> <p>HbA1c 検査、血清尿酸、血清クレアチニン検査</p> <p>心電図検査及び眼底検査（「詳細な健診項目」としての省令の基準に係わず追加実施）貧血検査（赤血球数、血色素量（ヘモグロビン値）、ヘマトクリット値）</p> <p>実施方法</p> <p>(1) 集団検診実施時期、委託先及び実施場所</p> <p>7月、11月 北海道対がん協会委託 健康福祉センター ふれ愛センター</p> <p>10月 厚生連札幌厚生病院委託 とうや湖農業協同組合本所</p> <p>1月～3月 厚生連倶知安厚生病院委託 倶知安厚生病院</p> <p>(2) 個別健診 通年 胆振西部医師会委託 実施医療機関</p>

9 特定保健指導の実施方法

対象者の選定と階層化の方法

(1) 腹囲 男 85cm 女 90cm

追加リスクが 2以上の対象者 積極的支援

1の対象者 動機づけ支援

0の対象者 情報提供

(2) 腹囲 男<85cm 女<90cm

追加リスクが 3以上の対象者 積極的支援

1または2の対象者 動機づけ支援

0の対象者 情報提供

追加リスク

血糖 空腹時血糖 100mg/dl以上 または
HbA1cの場合 5.2%以上

脂質 中性脂肪 150mg/dl以上 または
HDL コレステロール 40mg/dl未満

血压 収縮期 130mmHg以上 または
拡張期 85mmHg以上

質問票 喫煙歴あり

実施方法 外部委託をおこなわず衛生部門の保健師・管理栄養士が実施します。
結果説明会及び家庭訪問、教室を実施します。

10 個人情報の保護

洞爺湖町個人情報保護条例に基づき、適切な対応をする。検診委託機関との委託契約時に守秘義務を設けます。

11 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

毎年、数値目標の達成状況と事業実施状況について評価を行い、その結果により見直しが必要な場合は見直しをおこないます。